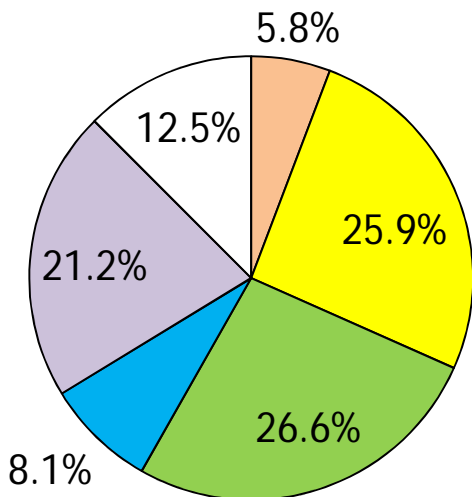


一般道路における規制速度を下方補正している理由

下方補正している理由【H21～H23】

対象～点検後も速度を現状維持している区間(2,556区間)

安全性の確保	生活環境の保全	道路構造	沿道状況	交通特性	その他	合計																				
249	1114	1145	348	914	538	4308																				
5.8%	25.9%	26.6%	8.1%	21.2%	12.5%																					
交通事故件数が多い 重大事故がある 脇見運転が多い 人家・商店が多い 通学路である	大気汚染・騒音の問題 道路線形が悪い 道路幅員が狭い 歩道がない(不十分)	視距が悪い 路面が悪い 路肩が狭い	沿道出入口が多い 交差点間隔が狭い 実勢速度が低い(適正)	歩行者・自転車が多い 交通量が多い 大型混入率が高い 踏切が設置されている 信号機の設置が多い バス専用通行帯等がある 駐車需要有り	原付が多い 住民の要望 その他 検討中 工事中 隣接区間と整合	冬季の路面凍結等																				
147	101	1	759	346	9	475	340	141	106	46	37	257	91	221	355	155	141	18	8	12	4	301	119	56	57	5

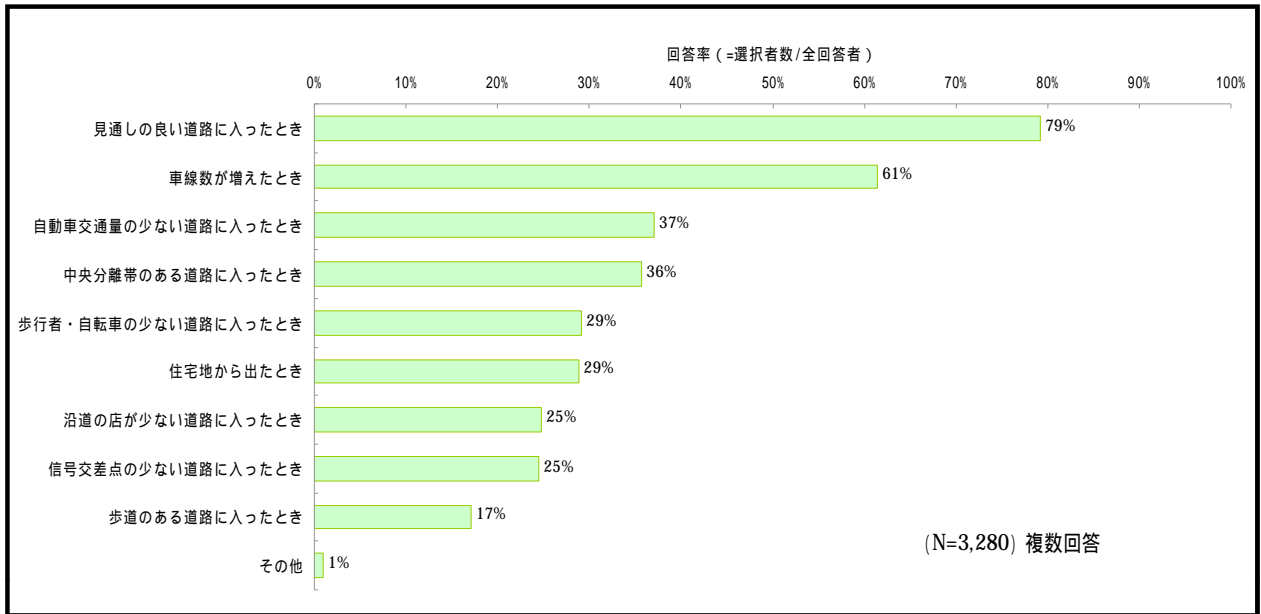


- 理由上位10
- 1 人家、商店が多い 759
 - 2 道路線形が悪い(カーブ等) 475
 - 3 歩行者・自転車が多い 355
 - 4 通学路である 346
 - 5 幅員が狭い 368
 - 6 住民の要望(反対) 301
 - 7 沿道出入口が多い 257
 - 8 実勢速度が低い(適正) 221
 - 9 交通量が多い 206
 - 10 交通事故件数が多い 147

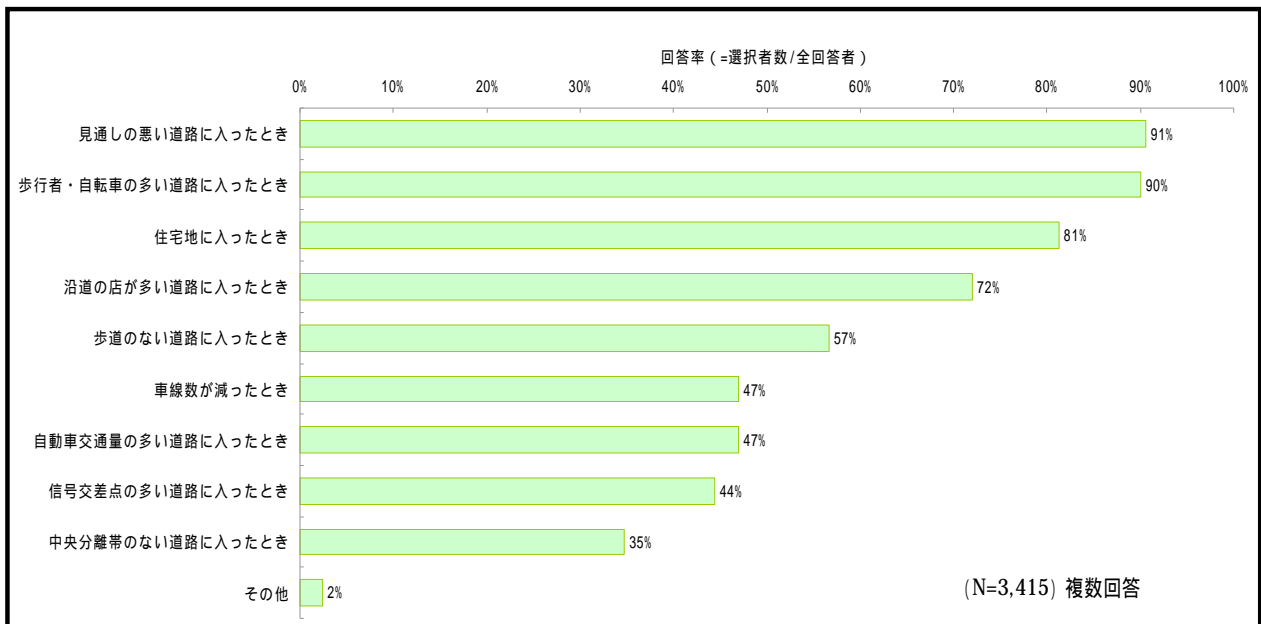
速度規制に関するアンケート結果

(平成21年1月～2月実施)

一般道路の「幹線道路」において、速度を上げられると感じる道路交通環境の変化



一般道路の「幹線道路」において、速度を下げる必要があると感じる道路交通環境の変化



全国の運転免許保有者3,439人に対しアンケート調査を実施
質問に対し、項目を複数選択により回答